

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 花木庭会

目 次

I	基本理念	1
II	令和6年度基本方針	1
III	令和6年度事業目標	1
IV	概要	2
V	評議員会、理事会の開催状況	8
VI	行事実績(令和6年度)	9
VII	ボランティアの受入状況(令和6年度)	9
VIII	職員配置の状況	10
IX	利用者の状況	10
X	利用者の日課	12
X I	利用者の通院状況	12
X II	苦情解決	13
X III	研修会の参加状況	13
X IV	事業報告の附属明細書	15

I 基 本 理 念

- 1 障害者の人権と尊厳を守り、自立と社会参加の支援を行う。
- 2 福祉事業を通じて地域社会の発展に貢献する。
- 3 ご利用者様、職員、法人の三者全ての安心と満足度を高める。

II 令 和 6 年 度 基 本 方 針

- 1 ご利用者様へ、常に真心を込めて安心と安全を提供する。
- 2 地域との交流を活発にし、地域から必要とされる施設づくりを目指す。
- 3 職員の自己研鑽による能力アップに努める。
- 4 技術力の向上により、よりよいサービスに徹する。
- 5 社会的ルールの遵守(コンプライアンス)を徹底する。

III 令 和 6 年 度 事 業 目 標

1 生活相談

- ① 利用者の人権尊重、権利擁護。
- ② サービスの質の向上。
- ③ 相談支援事業を通じて地域社会へ貢献する。
- ④ 入所待機者の確保

2 生活支援

- ① 利用者の個人ニーズに応じた個別支援に取り組む。
- ② 職員としての質の向上。
 - ・利用者に寄り添い、相手の立場に立った思いやりのある言動を心がける。
 - ・技術の向上及び障害の特性に応じた心のサポートを学ぶ。
 - ・職員間の連携を図り、安心・安全な支援を提供する。

3 医療

- ① 各部署との連携。
- ② 早期発見、早期治療。
- ③ 感染予防に努める。

4 総務

- ① 職員研修によりスキルアップを図る。
- ② 防災訓練や行事等をとおして、地域とのつながりを密にする。
- ③ 安全運転の励行。
- ④ 情報管理の徹底に努める。

5 給食

- ① 衛生管理を重点的に行う。
- ② 利用者の個人ニーズに応じた栄養ケア支援に努める。
- ③ 調理技術の向上(高齢化、重度化対応)。
- ④ 季節の行事を大事にし、手作りで家庭的な食事を提供する。

IV 概要

令和6年度は、花木庭会の法人運営においては、評議員会は3回開催され、決算報告、事業計画、収支予算など7議案について審議がなされた。

理事会は4回開催され、清掃業務委託や女子トイレ改修工事の入札、規程の改正など25議案について審議がなされた。

監事会は5月に定例監査が実施された。また、評議員会、理事会及び鹿島市の社会福祉法人指導監査に出席された。

インターネットによる公表は、定款、役員名簿、評議員名簿、役員等報酬規程及び5年間の決算書を当法人のホームページに掲載している。また、現況報告書、計算書類等及び事業所情報を社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムに届出し情報公開をしている。

施設・設備の整備では、昨年度の男子利用者トイレの改修工事に引き続き、今年度は、女子利用者トイレ、女子利用者洗面所、職員トイレの改修工事を行った。給排水管及び内装設備は一新され、トイレの床はドライ式に変更された。

改修工事は、年度を跨いでの実施となり、令和7年4月末の竣工を予定している。

ナースコール用パソコン（1台）、デスクトップパソコン（9台）、ノートパソコン（4台）、合計14台を整備した。内訳としては、13台が更新で1台は新規購入とした。主に職員が支援について入力を行うパソコンの更新であり、支援ソフトがスムーズに起動でき、また、モニターも大きく見やすいとの意見も聞かれた。作業効率アップに繋げることができたと思われる。

職員の負担軽減や業務の効率化を進めるために、インカムの整備を行った。また、それに伴う環境の整備としてWi-Fi設備の増設を実施した。排泄サポートリフトの導入により、立位保持に不安がある利用者への対応について、職員の身体的負担や不安を取り除くことができている。電動ベッドについても2台購入し、有効に使用ができている。今後も利用者の身体状況にあわせ、ギャッジベッドから電動ベッドへの更新を考えていきたい。

厨房の保存食用冷凍庫が故障したため、業務用冷凍庫の整備を行った。機器の選定については、給食材料費の高騰から冷凍食品を有効利用している背景もあり、より多く収納できるタイプの機器を整備した。また、29年間使用していた女子利用者洗面所のガス給湯器が故障したため更新を行った。秋口に故障したため、お湯が必要となる時期でもあったことから、女子トイレの改修工事を待たずして速やかに整備した。その他、ワイヤレスマイク設備の更新、栄養士室用のプリンターの整備を実施している。

職員配置の状況は、年間を通して全体の平均配置数が44.9人（常勤換算43.0人）と前年度に対して平均配置数で0.2人増加（常勤換算は0.3人減少）、生活支援員の平均配置数は28.2人（常勤換算26.7人）で前年度と比較すると、平均配置数が1.2人（常勤換算1.0人）増加した。

年度内に4人の採用を行うことができたが、退職者が3人となり、年度末での職員数は前年度の46人から47人となった。

全職員のチームワークにより利用者へのサービス提供を行うことができた。

研修については、施設内研修を定期的に行い、職員の資質向上に努めた。また、施設外研修として、県内の研修会や、全国大会、九州大会にも参加し、他の施設職員との交流を深めることができた。特に2月の九州大会では分科会で食事に関する施設の取り組みについて発表を行い、

貴重な体験となった。

令和6年度も1年を通して新型コロナ感染症等の感染予防対策のために、施設内の消毒や換気の徹底を行ってきた。利用者や職員の体調の変化にもいち早く気づけるようにと検温チェックも徹底して行った。

今年度の感染の状況としては、6月～7月にかけて施設入所者12人、職員9人が新型コロナウイルス感染症に感染するクラスターが発生し、また、令和7年2月下旬から3月上旬にかけて利用者、職員の新型コロナウイルス感染症への感染が確認されたが、クラスターには至らず収束することができた。

現在、職員は発症から5日間を自宅待機とし、利用者は発症から10日間は個室等で隔離対応をしている。また、食事を伴う外出後や、医療機関からの退院後は、潜伏期間を考慮して症状がなくとも、同じように5日間の個室での対応を行うことで、感染症の拡大防止に努めた。

新型コロナウイルスワクチンの接種については、施設としての集団接種は今年度も実施していない。

施設の事業等への影響としては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通所事業、短期入所、面会、行事等を6月25日～7月22日までと、2月22日～3月11日まで中止とした。

1 生活相談

利用者の権利擁護、人権尊重の観点から日々の支援において、日頃から相談内容を傾聴し、寄り添い支援することを心掛けた。課題が見つかった時点で速やかに改善に努めた。

利用者は、重度化の傾向にあり、介護の度合いが高くなった利用者については、障害支援区分も高くなり、きめ細やかなサービスが必要となり、支援内容を変更することがあった。

入所利用者は、年度中に5人に入所してもらうことができたが、退所者が4人となったため、年度末では49人にとどまった。

入所待機者については、行政機関や医療機関等との連携を図り、入所待機者の確保に努め、入所待機者の中から入所に繋がった。年度末での待機者は前年度から1人増えた。

2 計画相談

相談支援センター鹿島療育園では、佐賀県の南西部地区を中心に計画相談を行ない、障害種別による制限はなく、身体・知的・精神すべてにおいて対応した。

ご本人やご家族のニーズに応じたサービス提供に努め、住み慣れた自宅・地域において安心した生活が送れるように支援した。

杵藤地区自立支援協議会・相談支援部会等の会議に参加し、相談窓口からの相談件数や課題等、在宅障害者の情報を共有した。

市町より依頼があった計画相談については、速やかに対応し、令和6年度中に、サービス等利用計画は入所者14件、在宅者27件の合計41件であり、その内、新規での利用計画策定は3件であった。また、利用計画に沿ってサービスが適切に提供されていることを定期的に確認するモニタリング（継続サービス利用支援）は165件だった。なお、障害児サービス等利用計画の策定実績はなかった。

3 生活支援

入所者の延べ利用者数は16,401人で前年度の17,150人から749人減少した。これは、入院

が長期間となる利用者も多く、年度内の入院日数が1,051日であったこと、また、定員割れの状況で満足に欠員補充が出来なかったことが影響していると考えられる。稼働率は86.4%となった。

事業目標である利用者の個人ニーズに応じた個別支援への取り組みについては、利用者の主体性を尊重し、個人やその家族が望まれている目標を個別支援計画に反映し日々の生活の中で取り組んでいる。個人のニーズに応じるためには計画上のみの支援ではなく、利用者の小さな思いにも耳を傾け、常に情報の共有を継続している。現状に課題点が見つかれば振り返り、改善、その後の対応策へと繋げて支援の充実を図ってきた。

職員の質の向上については、利用者の高齢化・重度化が進む中、生活支援員の中に認定特定行為従事者（喀痰吸引研修課程修了者）が現在4人在籍し、医療的ケアが求められる支援への対応にも安心を得られてきた。

これからも、利用者に寄り添うことで安心を得ていただけるよう、言葉を超えた支援を提供していきたい。

4 生活介護（日中のみ）

通所事業の年間の延べ利用者数は76人で前年度の104人から28人減少し、一日当たりの利用者数の平均は、0.3人となり、定員4人での稼働率は7.1%となった。年度末の実人員は3人と前年度と同じであった。

通所利用者の支援においては、入所利用者と同様の条件のもとで支援を展開し、ご本人、ご家族のニーズに応じた個別支援計画を策定し、サービスの向上に努めてきた。

ご家族とは送迎のわずかな時間に顔を合わせ、言葉を交わすことによって情報が共有され、信頼関係が構築されていたことにより、緊急時の対応も理解と協力を得ることができた。

5 短期入所

年度内の利用者の実人員は9人で合わせて356日の利用で前年度の144日より212日増加となった。利用者のうち2人は入所利用者となられている。

個別支援計画の策定は必要ないものの、利用者の希望される支援については、主体性を尊重した支援を行った。

6 機能回復訓練

医師及び理学療法士の指示を受け、個別支援計画への取り組みへと繋げ、現状の身体機能、生活能力を維持し日常生活を営むための訓練として取り組んでいる。

業務の都合や職員の配置により訓練室での訓練が実施出来ない時が多かったが、日常生活の中に取り入れることにより、個別訓練として訓練が実施できるような環境を確保するように努めた。今後も参加率の向上を目標に利用者の健康維持、機能維持に努めていきたい。

7 サークル活動

○手芸サークル

外部講師による押し花を年8回（4・5・9・10・11・1・2・3月）職員による活動を年2回（8・12月）に行った。

押し花は毎回13名程の参加があり、講師や職員の介助を受けながら四季折々の押し花を使い、希望に沿った様々な作品を制作、完成された作品を手に取り満足そうにされている様子が伺えた。職員による活動では、ペットボトルを利用した「風鈴作り」、シールを利用し

での「干支のカード作り」を行った。

作品は手芸サークルの作品として園内での展示や作品展への出展も行っている。

○音楽・カラオケサークル

外部講師による音楽サークルは新型コロナウイルス感染症の拡大と講師の都合により 7、8 月は中止となったが、その他の月は実施することが出来た。

利用者からのリクエスト曲を外部講師のピアノやギター演奏に合わせ、参加者全員で歌うことで、歌うことの楽しさを感じられている。毎回 20 名程の利用者が参加された。

カラオケサークルは毎月 2 回の実施であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大や業務の都合により中止になった回（5・7・2・3 月は月 1 回実施）もあった。歌う事が好きな利用者の参加で、見学者も含めて毎回 20 名程の利用者が参加されている。好きな歌を歌ったり、他の利用者の歌に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだり、また、踊りだす利用者の方もいて和やかな雰囲気の中で実施できており、利用者の楽しみ、気分転換にも繋がっている。

○園芸サークル

園芸サークルとしての活動は、天候の影響や業務の都合により活動することができない時が多かったが、1 月に花壇作りを行い季節の花を植えることができた。

園芸の好きな利用者が、花や球根の植え込みや除草等、余暇時間に取り組まれ、また支援員が定期的に除草作業や花壇の手入れを一緒に行ったことで、園庭を訪れた人が、季節ごとの花々を楽しむことができた。

○レクリエーション

新型コロナウイルス感染症の拡大により 7 月は中止となったが、その他の月は実施することができた。毎月 20～25 名程度の利用者が参加された。ゲーム・習字・紙芝居・風船バレーなど様々な内容の活動が行われた。特に職員手作りの牛乳パックジェンガは利用者に好評で、集中して取り組まれた。

新型コロナウイルス感染症の影響により外出や外部との交流が制限されている中で、活動内容を通して利用者間の交流が図られ、また大きな声を出したり、体を動かしたりと楽しんで参加されている様子が伺え、利用者のストレスの軽減につながっていると思われる。これからも利用者が楽しんで参加していただけるよう活動内容を計画していきたい。

○編集サークル

年 4 回発行している「はなこぼ新聞」では、利用者の生活状況や行事等の様子、利用者の感想等をご家族や関係団体等にお知らせすることができた。発行の前に編集サークルを実施し、掲載内容についての検討、利用者への協力依頼、作業内容の役割分担を行った。より良い「はなこぼ新聞」になるよう、担当職員や利用者がコミュニケーションを図りながら取り組んだ。

○ボッチャサークル

毎月第 3 水曜日に実施、7 月は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となったが、それ以外の月は実施することができた。

ボッチャの公式ルールに従って対戦ゲームを行い、毎月 23 名程の利用者が参加された。回を重ねるごとに、真剣に取り組まれている様子が伺え、また良いプレイが出来た時などは、皆で拍手したり喜んだり笑顔で競技を楽しまれた。

8 苦情相談

随時受付による苦情の申し出が 5 件であった。内容は、支援での不手際、配慮不足など職員に関することが 2 件、同室者の独り言など利用者に関すること 3 件あった。苦情については、

概ねその場で回答し、検討が必要なものについては、翌月の利用者懇談会において回答を行った。苦情については、よく傾聴し、速やかな解決策が望まれる。また、更なる相談サービス提供者としての職員の資質の向上が求められる。利用者間の苦情については、相互理解が必要であり、苦情が軽減するような職員のメンタル面での支援も必要と思われる。

9 医療

利用者の延べ入院日数は、1,051日で前年度の515日より536日と大幅に増加した。これは、利用者の高齢化や重度化が進み、入院治療を必要とする利用者が増えてきたこと、入院が長期化する利用者も多くなったためと思われる。

年度内の退所者は4人で、内訳としては、入院治療継続による退所が2人、他の障害者支援施設への転所による退所が1人、死亡による退所が1人であった。

通院は年間1,283人が受診。前年度より164人増加した。内訳は、てらお総合歯科クリニックが550人と一番多く、次いで内科、精神科、外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻科、婦人科が続き、通院に多大の時間を要している状況である。

既往歴で再発する病名では、褥瘡、腎臓疾患、皮膚疾患が多くあった。また、精神疾患による通院者は15人を数える。

泌尿器科受診者は11人となり、うちバルーン留置者7人、自己導尿1人、内服治療中が8人となっている。

高齢化に伴い嚥下機能の低下などもみられるようになり、喀痰吸引が必要な者は3人となっている。食事中的ムセ・咳込みなど嚥下力の低下もみられ、水分トロミ・刻み食・ミキサー食の提供者も増加し食事介助を必要とする利用者も増加傾向である。誤嚥リスクが高い利用者が増えているため、必要に応じて嚥下検査を行い対応している状況である。

障害の重度化、高齢化に伴い、発症から悪化するまでのペースも早い。本人の訴えも乏しい中で、日頃の様子との比較、健康チェックを細やかに行うことで早めに変化に気づき、迅速に対応することができた。

嘱託医の田中医院はじめ、協力病院として犬塚病院、納富病院、織田病院（ようこクリニック）、嬉野温泉病院、園田病院、嬉野医療センター、白石共立病院、太良病院、別府整形外科、てらお総合歯科クリニック、高木眼科、下河辺眼科など様々な近隣の病院へお願いすることが多い。病院でコミュニケーションがとれず、介護の度合いで入院が難しい利用者は通院治療となるケースもあった。

11月はインフルエンザ予防接種を行い、利用者が感染することなく済んだ。

今後も、嘱託医や他職種間との連携を密に利用者への支援を行っていききたい。

10 給食

利用者の高齢化・重度化傾向により、よりきめ細やかなサポートが必要となる中で、一人ひとりに応じた食事形態で提供し、生活機能の維持改善の支援を行った。

食事形態は、主食をご飯・二炊き・全粥・全粥ミキサー食の4段階とし、副食の形態は、常食・一口大切り・荒刻み食・刻み食・ミキサー食に分けて提供した。刻み食で誤嚥リスクがある方には、主食以外をあんかけで提供した。

また、療養食として低脂肪食・減塩食・減塩低脂肪食・糖尿病食・カリウム制限食に取り組み、低ナトリウム血症の方には毎食1g食塩、褥瘡悪化の方には、毎食蛋白強化剤を給食で提供し、利用者一人ひとりの身体状況に応じた食事内容で提供した。

食事提供数は、全利用者合わせて年間49,064食で、毎食の平均では44.8食となった。

嗜好調査（年 1 回）やモニタリング（食事摂取量調査 年 2 回）を行い、調査結果を基に主食、主菜で嫌いな食材やアレルギー食品は、代替食にて提供することで満足度を上げた。

給食座談会（年 1 回）では、食に興味を持ってもらえる様、寸劇を取り入れた栄養教室を行い、食事摂取量向上につなげ、体力維持、機能低下防止に努めた。また、限られた予算内で季節の物や手作りデザート、誕生月の方にデザート 3 品から 1 品選んでもらい提供しており、利用者からも好評を得ている。コロナ禍より外出できない利用者に、楽しんで食べてもらえるようにと食堂の飾り付けを季節ごとに行っている。

安全面では「食中毒防止」「異物混入防止」等の衛生管理を徹底し、手洗い消毒と生野菜の処理、機械器具のアルコール消毒等の基本的対応を最重要ポイントとしてあげ、冬だけでなく夏場にも発生するようになった「ノロウイルス防止」など、1 年間を通じて「食中毒防止」、「ウイルスの感染予防」に努めることで、衛生管理の目標を達成し、安全・安心に食事摂取をしてもらうことができた。

11 防災

今年度の防災訓練は、感染拡大防止のため、6 月が実施できず、年間 11 回の実施となった。

防災訓練では、火災時に必要な初期行動及び利用者の安全な避難誘導を職員が確実に実施できるよう繰り返し行っている。特に夜間は勤務する職員が 3 人となるため、職員間の連携が求められ、より速やかで安全な避難誘導ができることが重要となる。年間で、夜間を想定しての訓練を 10 回実施し、1 回は昼間を想定しての訓練を行った。今年度実施した防災訓練での避難完了までに要した時間は、夜間想定で平均 19 分 7 秒、昼間想定で平均 6 分 26 秒だった。

鹿島消防署等と共同訓練である総合防災訓練については今年度も 10 月に実施することができ、関係機関・地域住民との有事の際の協力体制を確認することができた。

例年実施してきた全職員を対象とした夜間の招集訓練については、令和 4 年度より実施できていなかったが、今年度は実施することができた。招集日当日の遅出夜勤者等を除く全職員を対象に行い、10 分以内に 8 名の職員が登園し、30 分程度で殆どの職員が登園することができた。当日、登園できなかった職員も 3 名いたが、後日、個別に招集訓練を行った。今回、3 年ぶりの招集訓練であったが、連絡網が正常に機能していることを確認でき、また、職員相互が協力して伝達、登園する姿を見ることができた。

年々、利用者の方も加齢等による身体機能の低下がみられ、重度化が進んでおり、皆、避難誘導の際に何らかの支援を必要とする方が多い。利用者の身体状況に合った誘導方法を正しく把握しておくことも大切になってくるため、怪我や事故等が無いように安全で確実な避難誘導ができるよう、今後も引き続き訓練を行っていく。

V 評議員会、理事会の開催状況

<評議員会>

第 1 回

開催日	令和6年6月14日
第1号議案 第2号議案	令和5年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書及び財産目録)(案)の承認について 令和6年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について

第 2 回

開催日	令和6年12月16日
第3号議案	令和6年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について

第 3 回

開催日	令和7年3月25日
第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案	令和6年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和6年度鹿島療育園拠点区分第3次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和7年度事業計画書(案)の承認について 令和7年度資金収支予算内訳表(案)の承認について

<理事会>

第 1 回

開催日	令和6年5月30日
第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案 第8号議案 第9号議案	令和5年度事業報告書(案)の承認について 令和5年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書、貸借対照表・収支計算書の附属明細書及び財産目録)(案)の承認について 給与規程改正(案)の承認について 臨時職員等就業規則改正(案)の承認について 令和6年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園女子トイレ改修工事の設計監理業務委託に係る随意契約(案)の承認について 評議員の辞任に伴う評議員候補者(案)の承認について 評議員選任・解任委員会の開催(案)の承認について 定時評議員会の開催(案)の承認について

第 2 回

開催日	令和6年12月5日
第10号議案 第11号議案 第12号議案	鹿島療育園女子トイレ改修工事に係る入札(案)の承認について 令和6年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

第 3 回

開催日	令和7年3月14日
第13号議案 第14号議案 第15号議案 第16号議案 第17号議案 第18号議案 第19号議案 第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案 第24号議案	令和6年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和6年度鹿島療育園拠点区分第3次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 鹿島市指導監査結果通知書の回答(案)の承認について 賞与引当金の計上(案)の承認について 運営規程改正(案)の承認について 就業規則の改正(案)の承認について 育児・介護休業等に関する規則の改正(案)の承認について 役員等賠償責任保険の契約(案)の承認について 令和7年度事業計画書(案)の承認について 令和7年度資金収支予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園清掃業務委託に係る入札(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

第 4 回

開催日	令和7年3月21日
第25号議案	社会福祉施設長資格認定講習課程の受講申し出について

Ⅵ 行事实績（令和6年度）

月 日	行 事 名	摘 要
4月 6日	家族会役員会	事業報告、計画等
5月 1日	利用者健康診断	血液検査、心電図、前立腺がん検査、胸部レントゲン
5月 12日	家族会総会	事業報告・計画等
5月 24日	地域との交流会	施設概要及び事業計画等の説明
5月 29日	ランチパーティ	セレクトメニュー、スライドショー
6月 12日	健康教室・歯科検診	歯周病と体の健康について
6月 18日	安全祈願祭	安全祈願
6月 20日	能古見小学校5年生との交流会	施設概要説明
8月 9日 ～ 8月 16日	夏季帰省	日帰りでの帰省
9月 4日	秋祭り	会食、お楽しみ抽選会
10月 1日 ～ 10月 9日	利用者健康診断	尿検査
10月 2日	健康教室	病気に対する意識向上について
10月 2日	レクスポ	能古見小学校5年生とのボッチャ競技
10月 5日	国民スポーツ大会アーチェリー競技観覧	アーチェリー競技観覧
10月 22日	不在者投票	衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査
10月 23日	介護者教室	障がい者スポーツとは ボッチャ実践
10月 23日 ・ 10月 30日	ふれあいドライブ	コスモス車中見学
11月 11日	追悼会	物故者の供養
11月 20日	福祉講演会	障害者虐待防止法について
11月 20日 ・ 11月 27日	ふれあいドライブ	紅葉車中見学
12月 4日	忘年会	カラオケ 会食
12月 25日	クリスマス会	飾り付け、会食
12月 28日 ～ 1月 6日	冬季帰省	日帰りでの帰省
1月 7日 ～ 1月 24日	初詣	祐徳稲荷神社
2月 12日 ～ 2月 24日	佐賀県障がい者文化芸術作品展	作品 14点出展
2月 25日	ボランティア団体等との交流会	事業報告、計画等

Ⅶ ボランティアの受入状況（令和6年度）

月 日	団 体 名	摘 要
随時（年3回）	鹿島市婦人ボランティア五五会	施設周辺の清掃、花紙作製、車椅子清掃
随時（年8回）	押し花の会	押し花の作製支援
5月 29日	職員のボランティア活動	地域の清掃（溝掃除）
7月 22日	楠風会さくら会	花紙作製
9月 25日	職員のボランティア活動	地域の清掃（ゴミ拾い）
2月 20日	（株）カシマ美装のボランティア	施設外窓磨き

Ⅷ 職員配置の状況

区 分	施設 長	事務 長	生活 相談 員	看 護 師	生活 支援 員	事務 員	栄 養 士	調 理 員	合 計
令和5年度末職員数	1人	1人	3人	4人	28人	2人	2人	5人	46人
うち、臨時職員				(1人)	(7人)			(1人)	(9人)
期中	増加数	0人	0人	0人	1人	3人	0人	0人	5人
	うち、臨時職員								(0人)
	減少数	0人	0人	0人	2人	1人	0人	0人	4人
	うち、臨時職員				(1人)				(1人)
令和6年度末職員数	1人	1人	3人	3人	30人	2人	2人	5人	47人
うち、臨時職員				(1人)	(6人)			(1人)	(8人)

Ⅸ 利用者の状況

【入所者】

(1) 出身地別利用状況(令和6年度)

区 分	佐 賀 市	伊 万 里 市	武 雄 市	鹿 島 市	小 城 市	嬉 野 市	玄 海 町	有 田 町	大 町 町	江 北 町	白 石 町	太 良 町	大 村 市	佐 世 保 市	合 計
男	3人 ①	1人	7人	7人	2人	3人	0人 ①	1人	1人	0人	3人	2人	1人	0人	31人 ②
女	0人	1人	1人	6人	0人	3人 ①	0人	2人	1人	1人	2人	1人	0人	0人 ①	18人 ②
計	3人 ①	2人	8人	13人	2人	6人 ①	0人 ①	3人	2人	1人	5人	3人	1人	0人 ①	49人 ④

※○印は退園者数

(2) 月別在園者の状況(令和6年度)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月初利用者数		48人	47人	47人	48人	47人	47人	47人	47人	48人	49人	49人	49人	
入 園 者 数		0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	5人
退 園 者 数		1人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	4人
月末利用者数		47人	47人	48人	47人	47人	47人	47人	48人	49人	49人	49人	49人	

(3) 年齢構成表

令和7年3月31日現在

区 分	15 歳 ～ 19 歳	20 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 79 歳	80 歳 以 上	合 計	最 小	最 高	平 均
男	0人	0人	0人	3人	8人	10人	9人	1人	31人	43才	85才	63.3才
女	0人	0人	0人	1人	3人	10人	2人	2人	18人	48才	93才	66.0才
計	0人	0人	0人	4人	11人	20人	11人	3人	49人			64.3才

(4) 在所期間の状況

性別	期間	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計	1人当り 平均 在所期間
	1年未満							
男	3人	5人	3人	3人	4人	13人	31人	14年 9月
女	1人	3人	2人	3人	3人	6人	18人	14年 5月
計	4人	8人	5人	6人	7人	19人	49人	14年 7月

(5) 障害原因別

障害原因	事 故				疾 病			合 計 ① + ②
	交 通 事 故	労 働 災 害	そ の 他 の 事 故	小 計 ①	先 天 性 の 疾 病	後 天 性 の 疾 病	小 計 ②	
男	2	2	6	10	11	10	21	31
女	0	0	0	0	15	3	18	18
計	2	2	6	10	26	13	39	49

(6) 病症類別

属性		疾病・ 原疾患	主 た る 病 症 類 ・ 原 疾 患										前 年 度 合 計	
			脳 脊 髄 損 傷 性 マ ヒ	脊 髄 損 傷			脊 髄 マ ヒ	脳 血 管 障 害 後 遺 症	頭 部 外 傷 後 遺 症	精 神 遅 滞	そ の 他 の 難 病	そ の 他 の 疾 病		合 計
				頸 髄 損 傷	胸 腰 髄 損 傷	小 計								
性別	男 性	8	5	0	5	0	5	3	1	3	6	31	30	
	女 性	10	0	0	0	0	1	0	2	0	5	18	18	
	合 計	18	5	0	5	0	6	3	3	3	11	49	48	
障害支援区分	区分 6	14	5	0	5	0	4	2	0	2	5	32	33	
	区分 5	2	0	0	0	0	2	0	1	0	3	8	8	
	区分 4	2	0	0	0	0	0	1	0	1	3	7	6	
	区分 3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	1	
	区分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	18	5	0	5	0	6	3	3	3	11	49	48	

【通所者】

(1) 出身地別利用状況

区分	鹿島市	白石町
男	1人	1人
女	1人	0人
計	2人	1人

【短期入所者】

(1) 出身地別利用契約状況

区分	鹿島市	白石町	太良町
男	2人	1人	2人
女	0人	0人	1人
計	2人	1人	3人

X 利用者の日課

7:00	起床・洗面
8:15	朝食
	健康チェック
	整理整頓
	ラジオ体操
9:00	入浴
	機能回復訓練
	サークル活動
	行事
12:00	昼食
14:00	入浴
	自由時間
17:00	夕食
	自由時間
	娯楽時間
20:00	就寝準備
21:30	消灯

X I 利用者の通院状況

	内 科	外 科	精 神 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	訪 問 歯 科	皮 膚 科※	婦 人 科	泌 尿 器 科	救 急 外 来 等	そ の 他	計
4月	19人	10人	3人	1人	1人		38人	6人	2人	6人		1人	87人
5月	14人	12人	21人	4人	1人		33人	12人		10人		1人	108人
6月	23人	7人	10人	2人			32人			9人		1人	84人
7月	17人	8人	10人	2人	2人		47人	1人		7人		1人	95人
8月	24人	7人	14人	3人	1人		36人			12人		2人	99人
9月	19人	8人	13人	2人			60人	3人		8人			113人
10月	48人	8人	11人	2人	2人		64人	3人	1人	9人		1人	149人
11月	15人	8人	13人	6人	1人		51人	8人		7人		3人	112人
12月	16人	12人	12人	2人			51人	1人		10人		6人	110人
1月	20人	8人	13人	5人			46人	4人		9人		2人	107人
2月	12人	12人	11人	1人	1人		51人	6人		9人		5人	108人
3月	24人	7人	14人	2人	1人		41人	8人		9人		5人	111人
計	251人	107人	145人	32人	10人	0人	550人	52人	3人	105人	0人	28人	1,283人

※ 皮膚科はオンライン受診者22人を含む

前年度実績

計	200人	113人	130人	29人	8人	0人	392人	57人	0人	190人	0人	0人	1,119人
---	------	------	------	-----	----	----	------	-----	----	------	----	----	--------

X II 苦情解決

苦情受付件数

	職員に 関すること	利用者 に 関すること	施設に 関すること	そ の 他	計
6年 4月	0	0	0	0	0
5月	2	1	0	0	3
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	1	0	0	1
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
7年 1月	0	1	0	0	1
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
計	2	3	0	0	5

前年度件数

計	1	3	0	0	4
---	---	---	---	---	---

X III 研修会の参加状況

実 施 月	研 修 名	開 催 者 ・ 場 所	参 加 職 種	参 加 人 数	研修 日数	研 修 内 容
5月	新任職員研修会	佐賀県社会福祉協議会 佐賀市	生活支援員	1人	2日	新任職員としての基本的知識の習得
5月	公正採用選考人権啓発推進員研修会	鹿島公共職業安定所 武雄市	事務長	1人	1日	公正な採用選考について
5月	九州ブロック社会福祉法人経営青年会総会・セミナー	九州ブロック社会福祉法人経営青年会 佐賀市	生活相談係長 事務員	2人	1日	社会福祉法人の今日的経営課題について～時代がどのように変わり、適応していくか～
6月	全国安全週間説明会	武雄労働基準監督署 鹿島市	事務長	1人	1日	行動災害やヒューマンエラー防止のためのリスク低減対策
6月	九障協施設長・リーダー職員研修会	九州障害者支援施設協議会 熊本市	施設長 事務長 生活相談課長	3人	2日	基調報告ならびに行政説明及び障害福祉サービス事業の運営・各種加算の勉強会
6月	中堅職員研修会	佐賀県社会福祉協議会 佐賀市	生活支援員	1人	1日	中堅職員に求められる役割について
7月	佐賀県経営協セミナー前期	佐賀県社会福祉法人経営者協議会 佐賀市	理事長 施設長 事務長	3人	1日	令和のいま考える社会福祉法人の公益性、全国経営協の取り組みを踏まえて
7月	企業幹部人権・同和問題研修会	佐賀県 佐賀市	事務長	1人	1日	人権・同和問題に関する正しい認識と理解を深める

9月	安全運転管理者講習会	佐賀県安全運転管理者協議会 嬉野市	事務長	1人	1日	安全運転管理について
9月	「全国衛生週間」説明会	武雄労働基準監督署 鹿島市	事務員	1人	1日	働き盛り世代の歯と口の健康
9月	九州身体障害児者施設研究大会	九社連身体障害児者施設協議会 熊本市	施設長 事務長 生活相談係長 生活支援班長 生活支援員	5人	2日	「ふみだせ一歩」 ～危機対応と新しい福祉 のカタチ～
9月	佐賀県身体障害児者施設協議会 第1回職員研修会	佐賀県身体障害児者施設協議会 佐賀市	施設長 生活相談課長 生活支援係長 事務員	4人	1日	「職場におけるハラスメントとカスタマーハラスメント対策」
9月	全国身体障害者施設協議会研究大会	全国身体障害者施設協議会 仙台市	施設長 生活相談課長 生活支援課長 生活支援員	4人	2日	新しい障害者支援施設の創造を目指して
9月	佐賀県災害派遣福祉チーム 「基礎研修」	佐賀県社会福祉協議会 佐賀市	生活相談係長	1人	1日	災害派遣福祉チームの役割や必要性などについて及び災害派遣福祉支援の活動報告
9月	九州ブロック社会福祉法人経営青年会セミナー	九州ブロック社会福祉法人経営青年会 長崎市	事務員	1人	1日	今後の社会福祉法人経営について
10月	支援につなげる記録の書き方研修	佐賀県社会福祉協議会 佐賀市	生活支援員	1人	1日	福祉職における記録の正しい目的や意義を理解し、読み手に伝わる記録の書き方を学ぶ
11月	九障協サービス提供職員研修会	九州障害者支援施設協議会 佐賀市	生活支援員	1人	2日	一人一人が人生の主人公 ～私のことを私抜きで決めないで～
11月	サイバー犯罪対策セミナー	キャンノンマーケティングジャパン(株) オンライン	事務員	1人	1日	「県内企業を取り巻くサイバー犯罪の状況について」
11月	佐賀県障害者虐待防止・権利擁護研修	佐賀県 佐賀市	生活相談係長	1人	1日	障害者虐待の防止、及び虐待を受けた障害者等に対する適切な支援を行うための知識を深める
12月	九州地区障がい者相談支援事業合同研修会	九州地区障がい者相談支援事業合同研修会実行委員会 大分市	生活相談係長	1人	2日	「未来創造図」～相談支援から湧き上がる想いをつなげて～
12月	杵藤地区高齢者福祉施設等感染症対策研修会	杵藤保健福祉事務所 武雄市	看護師	1人	1日	高齢者福祉施設における感染症対策
12月	改正育児・介護休業法及びフリーランス新法等説明会	佐賀労働局 佐賀市	事務長	1人	1日	改正育児・介護休業法及びフリーランス新法等についての理解を深める
1月	佐賀県障害者支援施設協議会職員研修会	佐賀県障害者支援施設協議会 佐賀市	施設長 生活相談課長 生活支援員 事務員	4人	1日	改正障害者差別解消法と合理的配慮の提供
1月	福祉サービス苦情解決研修会	佐賀県社会福祉協議会 オンライン	生活支援課長	1人	1日	接遇コミュニケーション力アップでクレームを防ぐ
1月	社会福祉施設における労災防止・労務管理講習会	武雄労働基準監督署 鹿島市	事務長	1人	1日	転倒や腰痛といった労働災害を予防するための怪我をしにくい身体作り他
1月	佐賀県経営協セミナー後期	佐賀県社会福祉法人経営者協議会 佐賀市	理事長 施設長 事務長	3人	1日	協働化も大規模化も社会福祉法人が決める！全国経営協の取り組みを踏まえて

2月	介護・障害福祉分野の更なる処遇改善補助金対応セミナー	(株)メイア 佐賀市	事務長	1人	1日	介護現場における物価高騰・賃上げ等の状況調査の結果他
2月	九州障害者支援施設研究大会	九州障害者支援施設協議会 長崎市	施設長 生活支援班長 給食班長 事務員	4人	3日	障害者支援のこれから ～変わるもの、変えてはならないもの～
2月	佐賀県身体障害児者施設協議会第2回職員研修会	佐賀県身体障害児者施設協議会 佐賀市	施設長 事務長 生活相談課長	3人	1日	各施設における人材確保・雇用定着のあり方について
2月	佐賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会	佐賀県 佐賀市	生活相談係長	1人	1日	障害者虐待の防止、及び虐待を受けた障害者等に対する適切な支援を行うための知識を深める
2月	社会福祉法人役員等研修会	佐賀県社会福祉法人経営者協議会 オンライン	施設長 事務長	2人	1日	社会福祉法人の財務管理と経営のあり方
3月	全国身体障害者施設協議会経営セミナー	全国身体障害者施設協議会 千代田区	施設長	1人	1日	意思決定支援について考える
3月	佐賀県社会福祉法人経営青年会総会	佐賀県社会福祉法人経営青年会 佐賀市	生活相談係長 事務員	2人	1日	役員改選について他
3月	個別避難計画作成推進研修会	佐賀県 佐賀市	生活相談課長	1人	1日	災害による地域の要配慮者の犠牲を減らすために個別避難計画について考える
3月	全国経営協 障害福祉事業経営セミナー	全国社会福祉法人経営者協議会 オンライン	事務長	1人	1日	今後の障害者支援施設の在り方について

XIV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。